

河川景観に関する意識調査と景観設計

信州大学工学部 正 員 寒川 典昭
 信州大学工学部 学生員 ○金江 賢司

1. はじめに

近年、都市計画において河川景観が重要な位置を占めるようになってきた。また、河川とその河川の近くに住む人々との係わりは非常に親密であるので、そのような人々に望まれるような景観設計が必要である¹⁾。

現在、長野市の市街地の南を流れる犀川の丹波島橋から長野大橋間の北岸は運動公園として利用されているが、南岸は自然状態のまま放置されている。本研究では、図-1に示す犀川の上述の区間を対象地区とし、学生と住民とを被験者としてアンケートを行い、その結果から対象地区の南岸に対して、多数の人々に満足される河川景観の設計を試みようとするものである。

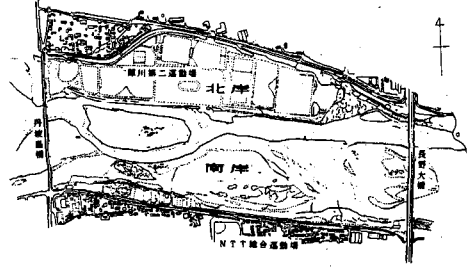


図-1 対象地区

2. アンケート調査方法及び分析方法

今回は、調査用冊子と写真を用いた2通りのアンケートを行った。冊子アンケートの場合は本学科の学生83人と、上述の対象地区付近の住民300世帯を対象にした。学生には直接配布・回収し、住民は郵送と訪問面接の両方を採用した。質問内容は対象地区においての利用状況、現状に対するイメージ、南岸において望まれる施設や護岸の整備についてなどである^{2), 3)}。写真アンケートは、護岸及び広場・公園の写真モデルとしてそれぞれ5枚1組で提示し、南岸を整備すると仮定した場合に各組において良いと思われるものから順番に順位をつけるという方法で、先に述べた住民300世帯を対象にしてすべて訪問面接で行った。

次に分析方法であるが調査用冊子を用いたアンケートについては、各々の質問に対して集計されたデータを表及びグラフにして表した。写真アンケートは、順位の高いものから5点、4点、・・・、1点と点数化してその点数の合計で評価した。

3. 分析結果及び考察

アンケートの回収率は、表-1の示すとおりである。ここでは、住民の分析結果を中心に述べる。

まず、図-2に示した「犀川のイメージ」については、全般的に良い印象が持たれていると思われる。

次に「南岸全体に望む整備」については、図-3に示すとおりであり、

“川の景色を美しくすること”が最上位を占めている。

表-1 アンケート回収率

アンケート	学生 (%)	住民 (%)
冊子	80.7	39.7
写真	—	29.0

また「南岸に欲しいもの」については、図-4に示すとおり、“川の流れや近くの景色を楽しみながら、散歩やジョギングのできる遊歩道のあるような場所”が1番好まれている。

表-2 南岸に望む護岸整備

1位	自然を基調とした整備	67.5%
2位	石畳	10.8%
3位	丸石	7.5%
4位	コンクリート	5.8%
	その他	4.2%
	無回答	4.2%

「南岸に望む護岸整備」については表-2に示しているように、自然を基調とした整備を選んだ人が圧倒的に多く、他には石畳、丸石を使った護岸という結果が得られている。

写真アンケートの結果は表-3に示す。表中のA～Eは護岸の写真、F～Jは広場・公園の写真である。A～Eについては1番の数ではEが圧倒的に多いが、得点でみるとCが1番高く、ついでBとEになっている。Eは芝や木など緑が多く写っている写真であり、BとCはそれぞれ石畳、丸石の護岸の写真である。これら3項目が上位に位置していることは、冊子アンケートと同じ結果が得られたことに

なる。F～Jについては、F続いてIが高得点をあげている。Fは日本庭園の趣のある公園で、Iは遊歩道のある広々とした芝の広場であり、どちらも自然が有効的に使われている。

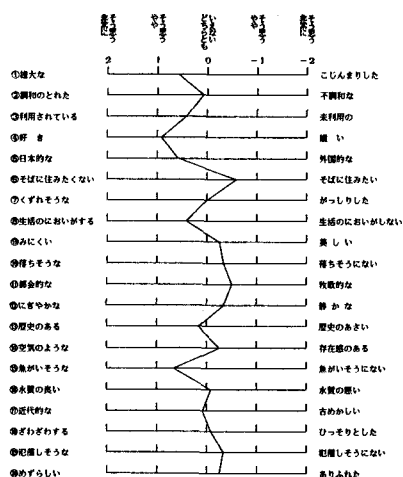


図-2 犀川のイメージ

4. おわりに

本研究は、アンケートの結果をまとめたものの、まだ魅力的な景観設計をするに至っていない。しかし今回の調査では、自然的なものが好まれる傾向にあり、河川景観の設計には自然をどのように取り込むかが重要な課題となることが分かった。また、大半の住民がこの区域で何らかの活動を行っていることが分かっており、回収したアンケートの中には、用紙の余白いっぱいに個人の意見を述べられていたものが多数あったことから、地域住民の方々の今後の犀川の整備に対する期待感を読み取ることが出来た。

最後に、本研究に御指導頂いた信州大学大学院生小牧健二氏、及びアンケートに協力して頂いた本校の学生及び地域住民の方々に篤く謝意を表します。

<参考文献>

- 1) 寒川典昭, 小牧健二, 山下伊千造: 丹波島橋-長野大橋間の河川景観設計の試み, 平成3年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.175-176, 1992年。
- 2) 松浦茂樹, 島谷幸宏: 水辺空間の魅力と創造, 鹿島出版会, pp.45-139, 1987年。
- 3) 高瀬信忠, 宇治橋康行, 安久豊司, 望月真: 金沢市近郊河川の河川空間に対する住民意識調査, 平成3年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.173-174, 1992年。

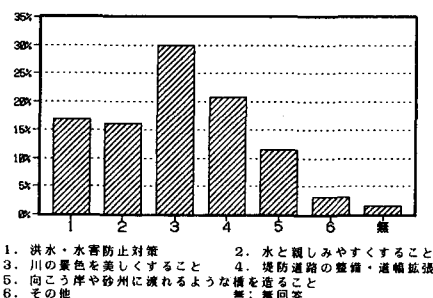


図-3 南岸全体に望む整備

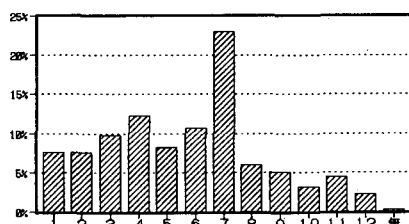


図-4 南岸に欲しいもの

表-3 写真アンケートの結果

順位	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1番(人)	11	18	17	7	34	29	7	13	27	11
2番(人)	17	23	27	12	8	19	26	10	9	23
3番(人)	24	12	19	27	5	12	33	18	12	12
4番(人)	13	22	18	17	17	11	8	23	25	21
5番(人)	22	12	6	24	23	16	13	23	14	20
得点	243	274	292	222	274	295	267	228	271	245